

(2) 決算見込み  
平成18年度の決算見込みは、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	科目	現計予算額(A)	決算見込額(B)	(B)/(A)%
収益的	病院事業収益	21,118,571	19,588,220	92.8
	医業収益	19,681,466	18,149,810	92.2
	医業外収益	1,188,674	1,197,171	100.7
損益的	看護師養成事業収益	248,431	241,239	97.1
	病院事業費用	21,118,571	20,358,557	96.4
	医業費用	20,528,923	19,776,025	96.3
支出	医業外費用	341,217	335,074	98.2
	看護師養成事業費用	248,431	247,458	99.6
	病院事業資本的収入	738,788	459,364	57.5
資本的	企業債	728,100	410,500	56.4
	国庫支出金	70,688	48,864	69.1
	病院事業資本的支出	1,963,117	1,624,859	82.8
支出	建設改良費	799,688	461,433	57.7
	企業債償還金	1,163,429	1,163,426	100.0

資本的収入の決算見込額が、資本的支出の決算見込額に不足する額 1,165,495千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 503千円、損益勘定留保資金 1,164,992千円で補てんします。

第2 経理の状況  
平成18年度における経理の状況は、次の残高試算表のとおりです。

残高試算表  
(平成19年3月31日)

(単位：千円)

借方	残高	勘定科目	貸方	残高
	17,216,301	(資産の部)		
	14,202,911	固定資産		
	14,042,884	有形固定資産		
	5,627	無形固定資産		
	154,400	投資		
	3,013,390	流動資産		
	144,208	現金預金		
	2,644,179	未収金		
	225,003	貯蔵品		
		(負債の部)		
		固定負債		3,395,931
		引当金		665,556
		その他固定負債		625,000
		流動負債		40,556
		未払金		2,730,375
		その他流動負債		2,693,445
		(資本の部)		36,930
		資本金		14,591,456
		自己資本		13,432,080
		借入資本		7,090,032
		剰余金		6,342,048
		資本剰余金		1,159,376
	390,979	利益剰余金		1,350,335
		(収益の部)		19,567,344
		病院事業収益		19,367,344
		医業収益		18,132,070
		医業外収益		1,194,099
		看護師養成事業収益		241,175
		(費用の部)		20,338,430
	20,338,430	病院事業費用		20,338,430
	19,364,126	医業費用		19,364,126
	728,472	医業外費用		728,472
	245,832	看護師養成事業費用		245,832
	37,554,731	計		37,554,731

第3 平成19年度予算の概要及び経営方針

1 平成19年度奈良県病院事業費特別会計の概要は、次のとおりです。

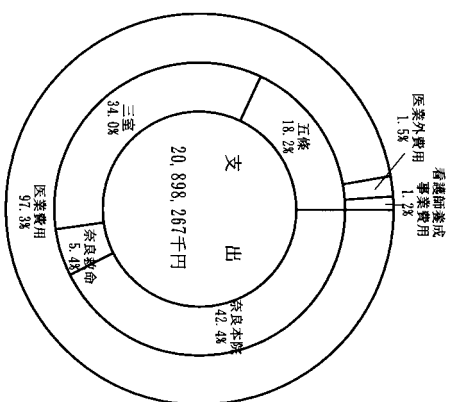
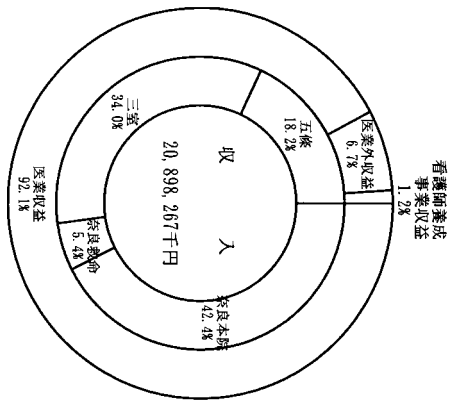
(単位：千円)

区分	科目	予算額	科目	予算額
収益的収支	病院事業収益	20,898,267	病院事業費用	20,898,267
	医業収益	19,254,825	医業費用	20,341,224
収支	医業外収益	1,400,601	医業外費用	314,202
	看護師養成事業収益	242,841	看護師養成事業費用	242,841
資本的収支	病院事業資本的収入	784,000	病院事業資本的支出	1,805,733
	企業債	784,000	建設改良費	787,800
			企業債償還金	927,933
			企業債償還金積立金	90,000
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 1,021,733千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,255千円、過年度損益勘定留保資金 861,274千円及び当年度損益勘定留保資金 159,204千円で補てんします。				
一時借入金限度額		2,000,000千円		
他会計からの負担金及び補助金		1,409,000千円		
たな卸資産購入限度額		7,143,601千円		

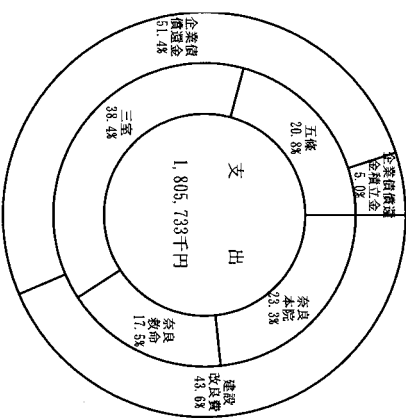
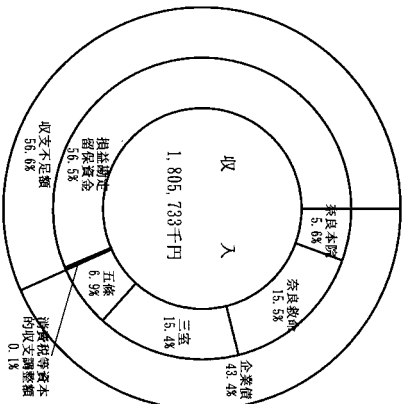
2 経営方針  
 病院事業は、県民医療の普及向上と公共の福祉の増進を図るため、施設・設備等の充実に努め、高度の診断能力の維持と患者サービスに万全を期するよう運営しており、各病院とも地域医療の基幹病院として県民の信頼を得るよう努めています。  
 本年度は、奈良病院の「血管造影X線診断装置」、三室病院の「全身用X線CT撮影装置」及び五條病院の「多目的X線TV装置」等を最新の機器に更新し、検査・診断機能の充実を図り患者サービス向上に努めます。  
 なお、近年の病院事業を取り巻く環境が激しさを増すなかではありますが、経営改善を図りながら効率的な病院運営に努めます。

平成19年度奈良県病院事業費特別会計予算の状況

収益的収支



資本的収支



IV 県債及び一時借入金状況

1 県債の状況

県債は、文教施設、福祉施設、土木施設等の公共施設の建設や災害復旧事業など一時に多額の経費を要し、その事業効果が後年度におよびかつ後年度に県民の応分の負担を求めることが適当な事業の財源に充てるために、県議会の議決や国との協議を経て借入れ、一定の割合で償還していく長期の借入金です。

県では、これらの事業完成後における効果、国の地方債計画、また後年度において財源措置が行われる有利な地方債の活用など、将来の財源負担を十分考慮しながら県債を活用しています。

なお、平成13年度からは、国の方針により地方交付税の振替である臨時財政対策債を発行していません。

県債の現在高の状況は、第12表のとおりです。

平成17年度末における一般会計の県債の現在高は、9,695億9,335万7千円でしたが、平成18年度中に公共施設の建設や災害復旧費の財源等として借入れを行い、一方、既に借り入れられている県債の償還を行った結果、平成18年度末の県債の現在高は、9,782億6,336万5千円となります。

また、特別会計の17年度末の県債の現在高は、812億8,797万8千円でしたが、18年度末では、822億4,583万7千円となります。

なお、平成19年度には、第13表のとおり一般会計で607億2,460万円、特別会計で318億5,005万円の県債の借り入れを予定しています。

第12表 事業別県債の現在高の状況

(単位：千円)

区分	平成17年度末現在高		平成18年度中増加		平成18年度末現在高	
	現在高	発行額	元金償還	見込み	現在高	見込み
1 普通債	673,963,997	28,710,600	41,828,442	660,846,155		
(1) 土木	499,271,494	23,494,800	29,191,741	493,574,553		
(2) 農林水産	61,713,605	2,490,100	4,446,578	59,757,127		
(3) 教育	41,093,935	334,100	2,959,608	38,468,427		
(4) 公営住宅	8,862,040	628,500	481,200	9,009,340		
(5) 庁舎	9,461,000	2,000	711,170	8,751,830		
(6) その他	53,561,923	1,761,100	4,038,145	51,284,878		
2 災害復旧債	4,759,990	430,000	778,714	4,411,276		
3 その他	290,869,370	33,114,100	10,977,536	313,005,934		
(1) 直轄事業債	105,604,310	8,712,300	7,329,103	106,987,507		
(2) 交付公債	84,333	-	11,761	72,572		
(3) 地域財政特別対策債	13,908	-	13,580	328		
(4) 上水道事業債	34,551,544	578,000	1,221,465	33,908,079		
(5) 下水道事業債	262,468	-	23,711	238,757		
(6) 退職手当債	101,500	2,200,000	89,900	2,211,600		
(7) 減税補てん債	23,081,490	907,500	621,580	23,367,410		
(8) 臨時税収補てん債	3,611,900	-	274,410	3,337,490		
(9) 臨時財政対策債	123,557,917	20,716,300	1,392,026	142,882,191		
合 計	969,593,357	62,254,700	53,584,692	978,263,365		
特別会計						
医科大学整備事業債	3,540,207	1,820,000	1,895,170	3,465,037		
医科大学附属病院整備事業債	37,980,829	3,109,500	1,540,593	39,549,736		
母子福祉資金債	41,521,036	4,929,500	3,435,763	43,014,773		
寡婦福祉資金債	302,585	-	-	302,585		
農業改良資金債	82,961	-	-	82,961		
中小企業高度化資金債	101,766	-	1,470	100,296		
用地先行取得債	3,591,647	-	95,992	3,495,655		
流域下水道事業債	79,239	-	79,239	-		
市場事業債	35,219,742	1,574,900	1,888,009	34,906,633		
合 計	81,287,978	6,504,400	5,546,541	82,245,837		
総 計	1,050,881,335	68,759,100	59,131,233	1,080,509,202		

(注) 本表には、企業会計(水道、病院)分は含まれません。

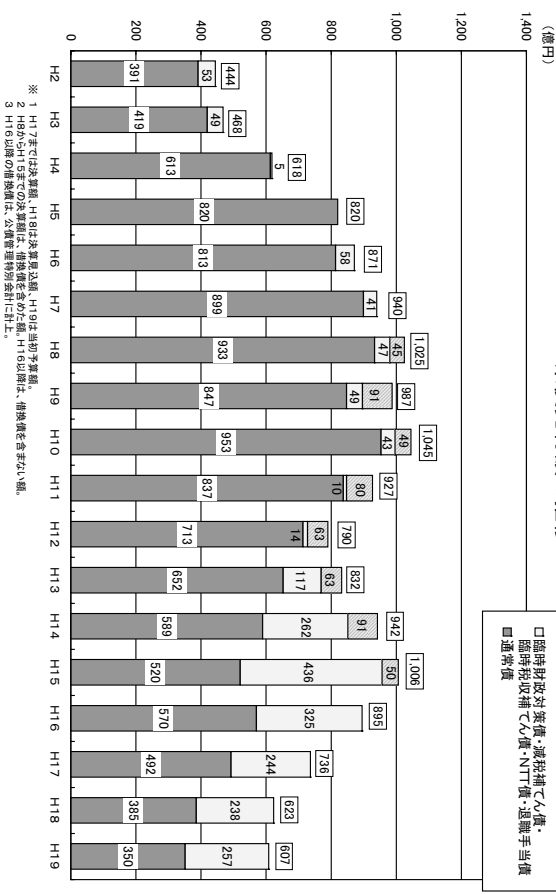
第13表 平成19年度県債事業別予算額

(単位：千円)

区分	一般会計	特別会計
1 普通債	33,419,900	
(1) 一般公共事業債	14,489,800	
(2) 一般単独事業債	18,688,800	
(3) 公営住宅建設事業債	241,300	
2 災害復旧事業債	376,500	
3 準公営企業債	76,900	1,120,200
(1) 下水道事業債		1,120,200
(2) 公有林整備事業債	76,900	
4 公営企業債	1,151,300	837,700
(1) 上水道事業債	1,151,300	
(2) 病院事業債		777,600
(3) 市場事業債		60,100
5 退職手当債	7,000,000	
6 臨時財政対策債	18,700,000	
7 その他の特別債		58,000
(1) 農業改良資金債		58,000
(2) 中小企業高度化資金債		
8 借換債		29,834,150
計	60,724,600	31,850,050

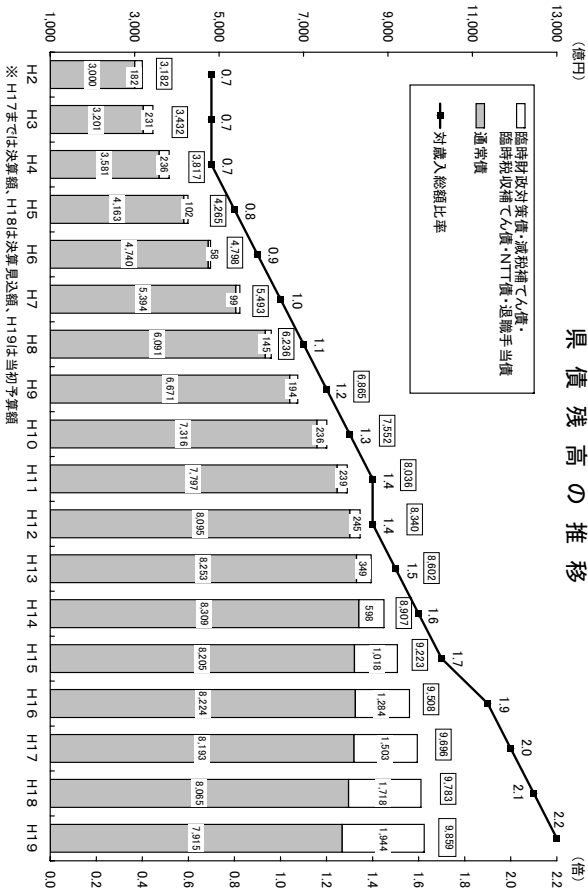
県債発行額の推移

県債発行額の推移

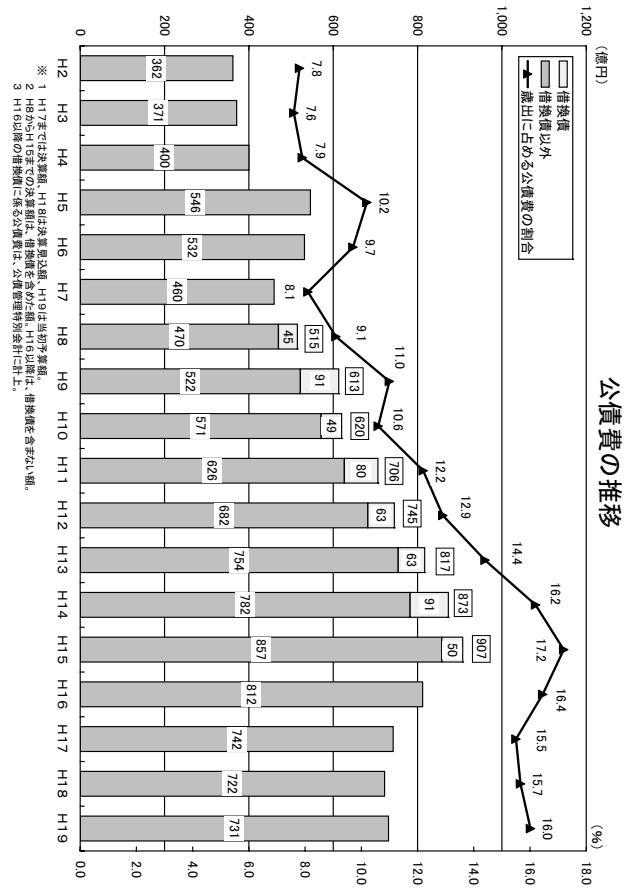


県債残高の推移

県債残高の推移



公債費の推移



2 一時借入金の状況

一時借入金は、年間の予算執行に当たり歳計現金が一時的に不足する場合に、短期の借入れを行うものであり、平成18年10月から平成19年3月までの間における各月末の一時借入金の現在高は、第14表のとおりです。

なお、各月における収入・支出の的確な把握を行い、効率的な資金管理・運用に努めています。

第14表 一時借入金現在高の状況

(単位: 百万円)

区 分	現 在		計
	一 般 会 計	用 地 先 行 取 得 費 特 別 会 計	
平成18年10月末日	0	0	0
平成18年11月末日	0	0	0
平成18年12月末日	0	0	0
平成19年1月末日	0	0	0
平成19年2月末日	0	0	0
平成19年3月末日	0	0	0

【定価】 一か月 三千五百円 一部売り 一枚につき四十六円(共に、送料別)

発行

奈良県

奈良市登大路町三〇  
電話 〇七四二一三二一〇(代)

印刷

株式会社 春日

奈良市三條栄町九一八  
電話 〇七四二一三五七三(代)

本誌は再生紙を使用しています。